



つばさっ子

2015年

6月号



今月の行事



5日(金)	18:00~20:00	ぱんだぐみ懇談会
6日(土)	9:00~11:00	ひよこぐみ懇談会
13日(土)	9:00~11:00	りすぐみ懇談会
18日(日)	13:30~	内科検診
19日(金)	10:00~	誕生日会
20日(土)	9:30~11:00	祖父母交流会(受付9:15)
27日(土)	9:00~11:00	うさぎぐみ懇談会

(保育協力をお願い)

6月25日(木)は、18:15~全体職員会議です。
早めのお迎えなどご協力お願いします。

お弁当の日ご協力ありがとうございました

お家の人を作ったお弁当に子どもたちは朝からハイテンション!!事務室にもうれしそうに見せに来てくれた子どもたちもいました。



親子まつり (5/30)



みんなでLet's ニンジャー!

「評価」を気にするよりも「学び合える」姿勢を大切に

仲嶺 真弓

第一回パパ懇を5/16(土)にしました。参加は29家庭のお父さんの参加でした。今回もどんなパパ懇にしようか試行錯誤しながら内容を決めました。パパ懇の報告は、少し詳しくお知らせしたいので別紙で配布しますが、参加してくれたお父さんたちの感想を読んで感じたことを一足先に書かせてもらうことにしました。感想は「参加してよかった。」という文面だけではなく、「何か物足りなかった…」や「あの話の進め方はどうだろう？」など感じたままの感想もあり、それを見てとても有り難く思いました。考え方によっては、一見マイナスのもののよう聞こえる感想ですが、実はとても貴重な感想で、やってみたことに何をプラスすればより良いものができるのか、そんなことを考える機会をくれます。評価と捉えず、“学び”に繋げていきたいと思えます。先日、担任が感想をくれたお父さんと直接話をしていて、そのお父さんからもプラスにしてほしいから感想を書いたと聞きとても嬉しく思えます。同時に職員を育てていただけていることに感謝の思いでいます。職員は「評価」を気にする世代がほとんどです。より良いものをつくるために「評価」を気にするのではなく、「学び合える」姿勢を持つことが大切であることを胸に止めておけるようにと思えます。

親子まつりを5/30(土)に開催しました。親子まつりは3回目となりますが、今回はそれぞれのクラスで子ども達が楽しんでいること・子どもと担任がしたいと思うことをメインに考え企画しました。実行委員として会議に参加していただけた保護者の方に、保護者は子どもと担任がしたいこと全面的にバックアップするという意見を聞いてとても心強く思いました。でもあらためて作る大掛かりな準備物はなく(5歳児のコーナーも店主となる子ども達が日々の保育の中で準備しました)親子まつりを迎えました。コーナーも保育士主体で考えていたので保護者と気持ちを重ねる機会が少なかったのですが、各クラスのコーナーはどうだったでしょうか? また、感想を日報に書いていただければ嬉しいです。

当日はお父さんの有志(癒るメン)でつくった“ニンニンにんじゃやしき”のコーナーが大盛況で、男女関係なく子どもが絶え間なく参加していました。昨年に引き続き、子ども心をくすぐるツボをお父さんが知っているようで、テレビでよく耳にする男性はいつまでも少年の心を持ち続けられる論は真実なのかも…と思えました。

実行委員会の中では、ぞう組の保護者が土曜保育を利用している子どもたちも楽しませてやろうよと、「一緒に連れてみてあげるで。」と自分達から発信してくれました。また他クラスの保護者も保育士が声をかけると、「うちは一人っ子やから小さい子と交われるのはいい経験やわ。」と言って一緒に連れてコーナーを回ってくれ、土曜保育の子ども達もコーナーでの遊びを楽しめました。ありがとうございました。

今回の参加者は、つばさっ子85名・兄弟姉妹の小学生26名・大人93名、総勢204名でした。予想段階から目を疑う参加人数で、無理はないかとドキドキしていましたが無事に終了しほっとしています。ただ、卒園児の小学生(兄弟姉妹が在園していない)の参加希望も聞いていたのですが、参加者が多いこと、つばさ共同保育園で過ごす子ども達のための行事であることを理由に断ったことが一番の心残りとなりました。兄弟姉妹の有無で参加不参加を決めるよりも、どの小学生も参加するための約束を守るか守れないかで参加の有無を決めるべきだったと考え直しました。約束はただ一つ。「この行事は保育園に通う子ども達のための行事だから、小さい子が優先。そして小さい子の世話もすること。」小学生にとって自分より小さい子ども達と関わる体験から学ぶことがあるはずで、保育園という枠を超えて、この地域で過ごす子ども達が心身ともに健やかに育まれる1つの場所であってほしい。そんな願いも込めて一つひとつの行事を大切にしていきたいと思えます。



【 学生が保育実習に来ます 】

6月から年間通して学生が保育実習に来ます。次の時代を担う若者が、子ども達と接する中で1つでも多くの子どもの理解や子育て支援に繋がる体験をし考える機会にしてほしいという思いから、毎年学生の実習を受け入れています。6月には大阪健康福祉大学から1名保育実習生が来ます。実習生とわかるよう、名札をしています。各クラスに入るのよろしくお願ひします。

【 職員のスキルアップ 】

5/25・25の2日間で午睡時間中に全職員救急救命（心配蘇生法）の講習を受けました。



2014年度社会福祉法人アトム共同福祉会 情報開示について

事務室にて2014年度の「財務諸表」を閲覧する事ができます。ご希望の方は事務室まで声をかけてください。

2014年度寄付金について

アトム共同福祉会では昨年度に引き続き寄付をよびかけたところ、たくさんの方にご支援いただきました。この場をかりてお礼を申し上げます。お寄せいただいた寄付金はアトム園舎建替に使わせていただきました。また法人に対しても寄付を頂き、重ねてお礼申し上げます。たくさんのご厚意ありがとうございました。（単位：円）

寄付金の内訳			アトム建替寄付額	法人寄付額
アトム保護者会			89,494	
つばさ保護者会 カンガルーの会			7,424	
アトム共同保育園・つばさ共同保育園を育む会			292,000	50,000
アトム・つばさ園児保護者			305,000	20,000
職員有志の会（We wish） アトム・つばさの園舎維持の為に職 員有志で立ち上げた会	アトム・つばさ園児保護者	25,000	78,522	
	アトム保護者会	11,966		
	職員	41,556		
合計			772,440	70,000

2014年度意見・要望・苦情解決の報告

2014年度は、つばさ共同保育園に8件の要望があり改善を行いました。

アトム共同保育園・つばさ共同保育園を育む会主催 第5回 アトム寄席開催

5月17日（日）アトムわいわいホールにて「第5回 アトム寄席」を開催しました。

「地域の方に身近な場所で文化にふれてほしい。」「地域への文化発信も担う、地域に根差した保育園でありたい」との思いから開催を続けています。この思いに賛同して下さった「笑福亭銀瓶さん」のご厚意により、今年も165名の方が足を運んでくださいました。

会場にお年寄りの元気な笑い声が響くたびに、アトム寄席が長くこの場所で続くことを願わずにはいられません。地域の方に見守られながら子ども達が成長できる環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

